



◇基本仕様

項目	仕様
名称	N6370M
型番	N6379-400A
読取面	片面
読取速度*5	A4 300文字手書(枚/分) 55
帳票*6	サイズ(mm) 105×74～297×235 紙厚(g/m) (重量kg) 40.7～174.5(35～150) 紙質 OCR用紙、上質紙、普通紙、再生紙、シーリング葉書、ノーカーボン紙(A紙、B紙、C紙)
画像	ドロップアウトカラー 赤／青／緑／マルチドロップアウト 最大解像度(dpi) 600 階調 カラー グレースケール 2, 16, 256階調 形式 カラー／グレースケール 2進 BMP／TIFF(MMR、MH圧縮、非圧縮)
ホッパ容量(mm)	16(160枚 帳票厚81.4g/mの場合)
スタック容量(mm)	アクセプト 16(160枚 帳票厚81.4g/mの場合) リジェクト 10(100枚 帳票厚81.4g/mの場合)
インターフェース	USB3.0(Super Speed) ケーブル長2.0m 標準添付
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力(W)	運転時130以下(省電力モード時3.2以下、待機電力0.5以下)
外形寸法(幅×奥行×高さ)mm	380×420×275(ホッパ、スタック含まず)
質量(kg)	約24(スタック含まず)
ナンバリング	読み取った帳票の裏面に一連番号または固定データを最大20桁、黒色で印字*7

◇認識仕様

認識対象	仕様
手書き文字	数字、英字(大文字)、カナ、記号、漢字
活字文字	OCR-B(数字、英字、記号)、OCR-K(カナ)、E13B、IBM407、7B、マルチフォント(数字、英字、記号、カナ)、漢字(MS明朝、MSゴシック、平成明朝、平成ゴシック)
マーク	OMR、MSR、チェックマーク
バーコード	NW7、JAN8、JAN13、CODE128、GS1-128(EAN-128)、CODE39、ITF
2次元コード	QRコード(モデル2)、PDF417

◇本体オプション

品名	型番	仕様
漢字読取機構	N6376-517A	手書き漢字および活字漢字を読み取る機構 単語知識処理可能
バーコード読取機構	N6376-513A	1次元バーコードおよび2次元コードを読み取る機構
姓名知識辞書	N6376-516A	漢字読取機構(N6376-517A)の姓名読み取り性能を向上させる 姓名単語辞書

◇OCR制御用ソフトウェア

品名	型番	仕様
データエントリ	UE1290-500	OCR装置を制御して帳票データの読み取り、および読み取ったコードデータの確認・修正を行うソフトウェア*2*3
パラメータ作成ツール	UE1291-500	帳票レイアウトの作成や帳票読み取りパラメータを定義するソフトウェア*3*4

⚠ 安全に関するご注意

ご使用の前に、マニュアル(取扱説明書)に記載の「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。
誤ったご使用方法は火災・感電・けがなどの原因となることがあります。

お問い合わせは、下記へ

NEC

http://jpn.nec.com/ocr/
E-mail: ocr@ind.jp.nec.com

●本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
●Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
●QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
●本製品は国内専用モデルです。
●本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内でのみ販売するものであり、当社では海外の保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。
●本紙に掲載された製品の色は、印刷の都合上、実際のものとは多少異なることがあります。また、改良のため予告なく形状、仕様を変更することがあります。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インキ
を使用しています。

オフィスのさまざまなニーズに応える小型OCRスキャナ

N6370M



高度な機能を、コンパクトなボディに凝縮。 使い勝手の良い、柔軟性に富んだ小型OCRスキャナ。

OCRスキャナN6370シリーズは、大量の手書き帳票やドキュメントのデジタルデータ化で、長年、実績を積み重ねてきました。N6370Mは、コンパクトなボディながら、排出用として2つのスタッカを装備。読み取った結果で帳票仕分けをすることができます。帳票の取扱いが容易となり、業務の効率化に貢献します。従来からの充実の基本機能はそのままに、高度なイメージファイリング機能を搭載したN6370Mは、さまざまな業務や業態、オフィス環境にも柔軟に対応できる先進の小型OCRスキャナです。

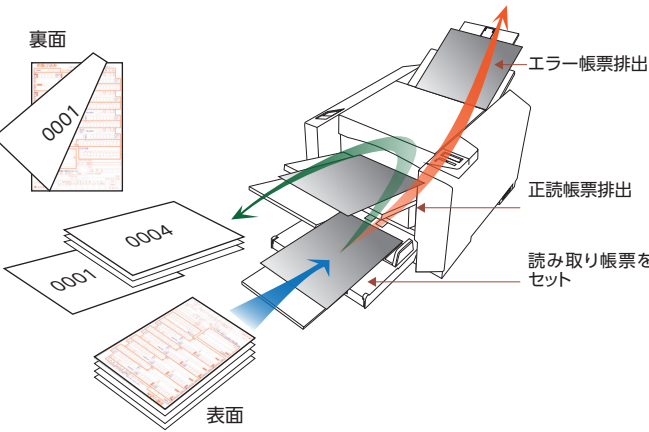
OCRスキャナの特長

高速搬送技術

帳票に記載されている文字情報を高速に電子データ化、処理速度は55枚/分になります。ビジネス用途で安定稼働、入力業務の効率がアップします。^{*1}

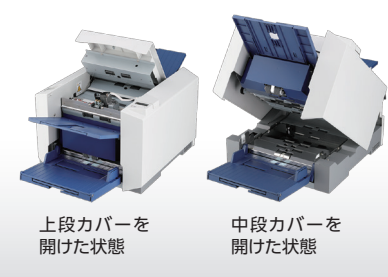
帳票管理・仕分け作業を効率化(ダブルスタッカ／ナンバリング機能)

読み取った帳票を、排出するスタッカを2か所装備。読み取った結果によって、排出する帳票を仕分けすることができます。また、帳票裏面に最大20桁までのナンバリング印字が可能ため、読み取り処理の結果によって帳票の通し番号や管理番号を印字することで、帳票の管理や仕分けが容易になります。



OCR装置の構造

OCR制御用PCが筐体の左右どちらにあっても、帳票を置きやすい前面アクセス構造です。また、帳票が搬送される経路に沿ってカバーが開く構造なので、万一紙詰まりなどを起こしても、帳票を傷めずに取り出せます。^{*2}



厚さの異なる帳票の混在読み取り

厚さの異なる帳票の混在読み取りが行われた場合、超音波センサーが重送検知して、帳票入力ミスを防止します。

従来装置との互換性を重視

従来装置のN6370シリーズから、運用帳票および帳票定義が利用可能です。N6370M用のパラメータ作成ツールで、N6370シリーズで利用していた帳票定義ファイルを自動変換する機能があります。レベルアップなどのスムーズな移行作業が行えます。^{*3}

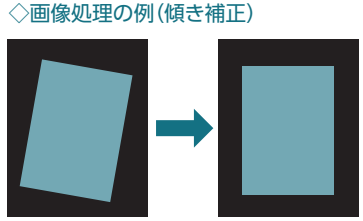
読み取りデータのセキュリティ対策にも配慮

OCR装置の電源を切ると、読み取った帳票データやイメージファイルはOCR装置の本体内に保存されません。機密データなどの読み取りを行ってもOCR装置の本体内にデータが残らないため、OCR装置を交換する場合も安心です。^{*4}

OCRスキャナの認識向上

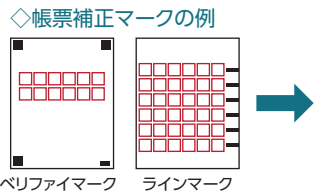
画像処理LSI搭載

読み取った帳票イメージを、下地色追従や背景色の白／黒切り替え、傾き補正、回転、伸縮、画像圧縮などで最適な画像に補正して、認識率を向上します。



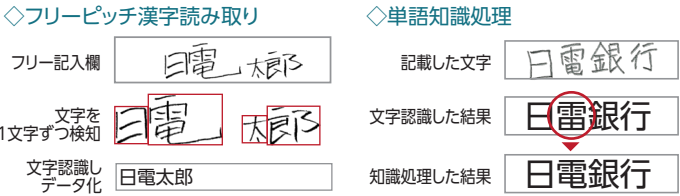
帳票の切り取りや印刷誤差を補正

帳票で位置を補正するマークがない、またはドロップアウトカラー枠の場合でも、切り取りや印刷誤差による読み取り位置のずれを自動補正し、読み取ります。^{*6}



帳票に記載する手書き文字認識の向上

文字の大きさやピッチが違っていても、1枠内に1行で手書きフリーで書かれた文字の認識が可能です。また、ユーザが登録した単語辞書(単語知識処理)を利用することで、読み取り精度を高めます。^{*5}



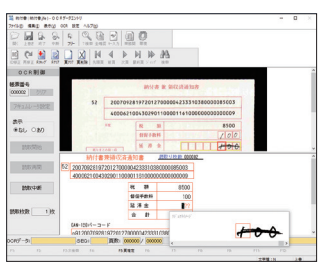
文字認識精度の向上(手書き文字について)

筆圧変化による文字のかすれや鉛筆筆記による汚れや濃淡について、文字認識に最適な調整を自動で行い、文字認識精度への多大な影響を最小限に抑えています。

OCRスキャナ制御用のソフトウェア

データエントリ

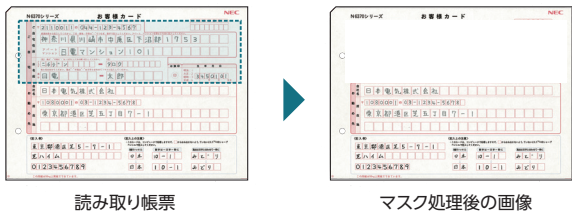
N6370Mを制御して帳票読み取りを行うソフトウェア、および読み取ったデータの確認・修正を行うソフトウェアです。読み取れなかった文字などを修正する場合に、帳票イメージを部分的に拡大してわかりやすく表示できるため、修正が容易に行えます。^{*7}



イメージファイリング機能を強化

全体イメージおよび部分イメージ／マスク機能

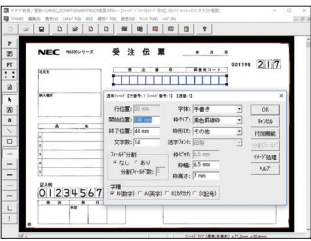
文字認識と同時に読み取った画像を電子データ化する際、あらかじめ任意に指定した部分を、1回の読み取りで白黒2値、グレースケール256値、フルカラーと、目的に合わせてイメージ出力できます。また、保存したくない箇所は特定部分のマスキングにより白色でのイメージファイル出力が可能です。



パラメータ作成ツール

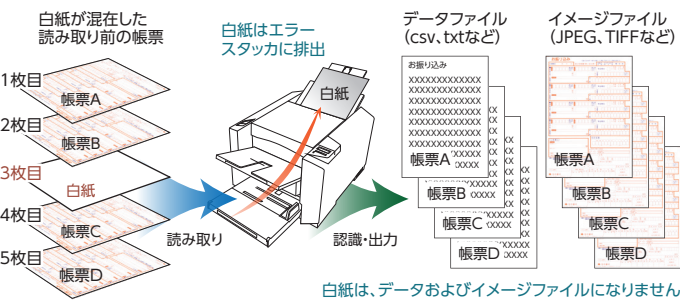
帳票レイアウトの作成や帳票読み取りパラメータを定義するソフトウェアで、作成方法には次の3つのパターンがあります。^{*8}

- ①寸法を測定して定義するパターン
- ②帳票レイアウトを作図して、印刷やパラメータ定義を一緒に行うパターン
- ③帳票イメージをOCR入力してパラメータ定義を作成するパターン



白紙飛ばし機能

原稿に白紙のページが混在している場合、白紙以外の原稿のみ読み取り、白紙の帳票をデータおよびイメージファイルとして出力しないように設定できます。白紙はエラースタッカに排出されます。



^{*1}:A4サイズ帳票(片面)、手書き英数300文字を読み取った場合。 ^{*2}:すべての帳票を傷めず取り出せることを保証するものではありません。 ^{*3}:N6370Mで利用する際に、スキャナ変更による帳票色や新規機能の追加により若干の修正が必要になる場合があります。すべての設定において完全互換ではありません。 ^{*4}:OCR装置と接続し、制御用PCへファイル出力したものはデータとして残ります。^{*5}:文書の読み取りはできません。 ^{*6}:帳票により、読み取り位置を自動補正できない場合があります。 ^{*7}:インストールするPC台数分のセットが必要です。(OCR装置に接続する装置台数分が最低必要です。) ^{*8}:OCR装置を運用するユーザにつき、最低1セットが必要です。